

<リサイクル事業者向け>

リサイクルに関する アンケート御協力をお願い

令和4年●月

平素は、京都市のごみ処理事業の円滑な運営に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、クリーンセンター等へごみを搬入の際、ごみ処理手数料をお支払いいただいておりますが、現在、そうした手数料のあり方等について、当審議会及びその下に設置した部会で議論を行っているところです。

このたび、議論を進めるうえでの基礎資料を得ることを目的に、リサイクル事業者の皆様へアンケートをお願いすることといたしました。

御多忙中誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨を御理解いただき、御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

なお、アンケート結果は統計的に処理したうえで公開する予定ですが、回答いただいた個別の事業者の情報が出ることはありませんのでご安心ください。

誠に勝手ではございますが、この調査票は

令和4年●月●日(●)

までに返信いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

※御不明な点等ございましたら、お手数ですが、次の連絡先までお問合せください。

【連絡先】

- ・京都市廃棄物減量等推進審議会事務局
(京都市環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課)

担当：●●

TEL：075-222-3946 FAX：075-213-0453

【回答方法】

本用紙を同封した返信封筒にてご返送いただくか、右記の二次元コードから電子データをダウンロードし、メールで返送いただくこともできます。



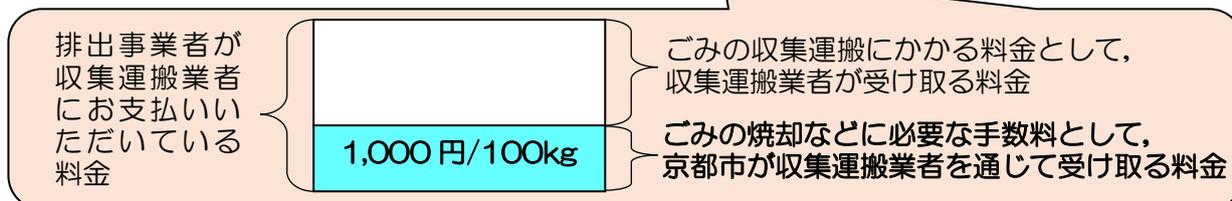
＜審議会（部会）における主な議論内容（予定を含む）＞

1 搬入手数料の体系と金額の水準

事業ごみの処理に係る各主体（市、事業者）の責任と費用負担のあり方及びリサイクル促進の観点などを踏まえ、持込ごみ及び業者収集ごみの搬入手数料の体系や金額は今後どうあるべきか。

議論の対象となるごみと現行の搬入手数料

事業ごみの種類	搬入方法（料金徴収方法）	現行手数料（100kg 当たり）
持込ごみ	排出者が搬入・支払い （排出者から直接徴収）	～100 kg : 1,000 円 101 kg～600 kg : 1,500 円 601 kg～ : 2,000 円
業者収集ごみ	収集運搬業者が搬入・支払い （排出者と収集運搬業者の 契約料金の中に含まれる）	1,000 円



2 業者収集ごみの搬入手数料を排出事業者に負担いただくための方策

搬入手数料の適正化に当たっては、業者収集ごみが、手数料を本来負担いただくべき者（排出事業者）と実際に納付する者（一般廃棄物収集運搬業許可業者）が異なるという特性を踏まえ、両者間の契約のなかで排出事業者に適切に負担いただくためにどのような方策が必要か。

3 民間リサイクルの促進のための方策

木質ごみ及び食品廃棄物について、ごみの排出実態や収集実態、リサイクル施設の稼働状況等を踏まえて、民間リサイクルを促進するためにどのような方策を講じるべきか。

＜参考＞京都市廃棄物減量等推進審議会及び部会について

京都市廃棄物減量等推進審議会は、本市のごみの減量に関する事項等を調査及び審議し、意見を述べるため、京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例に基づき設置された市長の諮問機関です。

現在、本審議会の下に、「ごみ搬入手数料等検討部会」を設置し、上記（1～3）に係る議論を行っているところです。本部会は、学識経験者、事業者団体、消費者団体など10名の委員で構成しています。

審議内容については、以下のHPで公開しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000217406.html>

＜アンケート調査票＞

貴社の廃棄物の処理の状況について教えてください。

1 貴施設の概要について

(フリガナ) 施設名称	
施設所在地	
受入時間 及び定休日	受入時間：() ～ () 定休日：
業の種類	
(フリガナ) 事業者（法人）名称	
本社所在地	
ご担当者名 （役職）	
電 話	
電子メール	

★パンフレット等あれば同封して下さい。

2 貴施設の処理能力等について

設備の種類	処理能力	対象廃棄物 (許可品目)	対象廃棄物 (一廃/産廃)	受入余剰能力	受入実績 (t/年) 直近3年度分		
					H30年度 〇〇t	R1年度 〇〇t	R2年度 〇〇t
(記入例) 高速発酵装置	20t/日	動植物性残渣 (厨芥)		〇〇t/日	H30年度 〇〇t	R1年度 〇〇t	R2年度 〇〇t

3 貴施設での廃棄物受入品目と取扱状況について

(1) 業区分, 受入価格, 受入条件等

受入品目 ★受入を行っている 全ての品目の口欄に ☑して下さい。	貴施設の業区分 (該当欄に○印)		受入価格(収集運 搬料金を含まず) ★買取の場合は, その旨を記入して 下さい。	受入条件 (大きさ, 性状, 荷 姿, 受入禁忌物等)	処理方法 ★処理フロー 図等があれば 添付をお願い します。	年間受入 可能量 (t/年)	受入実績 (t/年)	リサイクル製品 と納入先(差し支 えなければ事業 所名称)
	中間 処理	収集 運搬						
(記入例) ☑ 梱包木枠	○		10,000 円/ t	金属等の異物の付 着のないこと	破碎	30,000	15,000	製品: 燃料チップ 納入先: 製紙メーカー
<input type="checkbox"/> 木質パレット								
<input type="checkbox"/> 梱包木枠								
<input type="checkbox"/> 木製家具								
<input type="checkbox"/> 剪定枝								
<input type="checkbox"/> 刈草								
<input type="checkbox"/> 建設木くず(産廃)								
<input type="checkbox"/> 食品残渣(一廃)								
<input type="checkbox"/> 動植物性残渣(産廃)								

(2) 木質系廃棄物のリサイクル施設の方にお聞きします。年月によっても受入量が異なると思いますが、それぞれの品目について、平均的な各月の受入量をおおむねの割合でお答えください（年間合計を100%としてください）。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
木質パレット												
梱包木枠												
木製家具												
剪定枝												
刈草												
建設木くず（産廃）												

